

たばこについての『うそ』・『ほんと』…4つの質問について考えてみて下さいね

たばこについての『うそ』・『ほんと』…4つの質問

- その1 「煙(けむり)の出ないたばこ」は、身体(からだ)に害(がい)がない???
- その2 たばこを1本吸(す)うと、寿命(じゅみょう)が、「5分(ぶん)30秒(びょう)」ちぢむ???
- その3 「たばこを吸う男の人の割合(わりあい)：喫煙率(きつえんりつ)」が、日本は、アメリカやイギリスと比(くら)べて高い???
- その4 たばこを売(う)ることが禁止(きんし)されている国がある???

さて、いくつ、きみは正解できたかな？ 正解を見てみよう！！

質問その1 答えは・・・「うそ」

2006年「世界禁煙(せかいきんえん)デー」のポスター

「たばこは、どんな形(かたち)をしていても命(いのち)とり」と書かれています。

外国のたばこのポスター

「たばこは、ゆっくりとした自殺(じさつ)」

「たばこ」は、いろいろな種類(しゅるい)の製品(せいひん)が作られていて「煙の出ないたばこ」も作られています。「煙の出ないたばこ」は、煙が出ないので「まわりの人への害」はありませんが「たばこを吸う人への害」が、なくなるわけではありません。たばこを吸う人へのダメージの大きさは、ちょっと変(か)わらないのです。「煙の出ないたばこ」、「フルーツのにおりがついたたばこ」、「軽(かる)いたばこ」…どんなたばこでも「たばこ製品」は、すべて、死(し)につながる「危険物(きけんぶつ)」です。右の写真(しゃしん)のように、外国では「たばこを吸うことは『死』につながります」と、ポスターなどで、きちんと伝えられています。

質問その2 答えは・・・「ほんと」



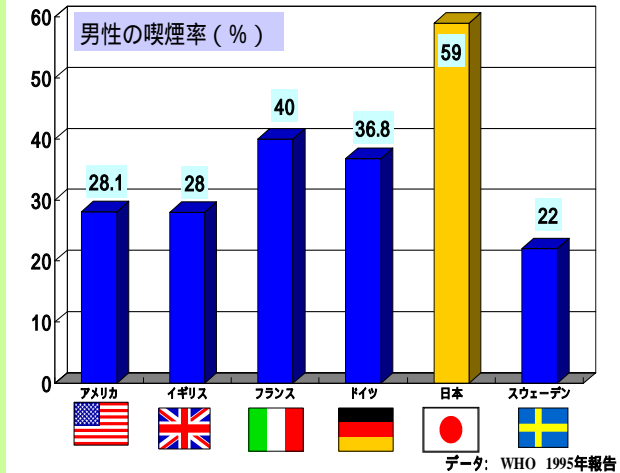
1日20本のたばこを、1年間吸うと28日間も寿命が、ちぢむ事になります。

データ：英国王立内医学会 1977

たばこを吸う人は早死(はやじ)にします

EUのたばこのパッケージ

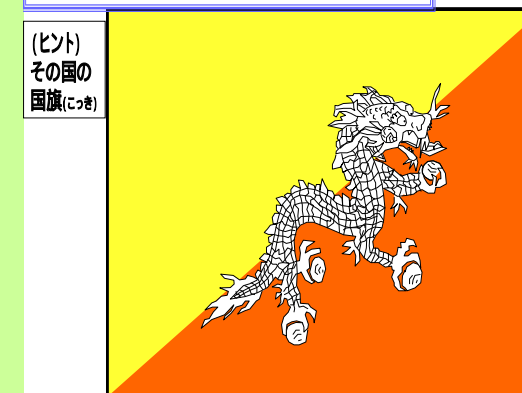
質問その3 答えは・・・「ほんと」



たばこの煙には、からだのあちこちに「がん」をつくる「発がん物質(ぶつしつ)」など、からだに有害(ゆうがい)な物質が200種類以上(いじょう)ふくまれています。たった1本のたばこでも、きみたちのからだに「5分30秒も命をちぢめるほどの大きなダメージ」をあたえます。日本の男の人がたばこを吸う割合は減(へ)ってきたと言われますがアメリカやイギリスの2倍以上という高い割合になっています。右上のグラフのように先進国(せんしんこく)の中では、日本の喫煙率は高いです。

質問その4 答えは・・・「ほんと」

では、その国はどこでしょう???



(ヒント) その国の国旗(こけり)

答え ()国王(こくおう)の国(こくに)

・2004年12月からブータン王国では国内でたばこを売ることが禁止された。【世界(せかい)で初(はじめて)めて！】

禁煙(きんえん)の法律(ほりつ)がある国

オーストラリア ニュージーランド タイ ベトナム マレーシア
 アメリカ合衆国 カナダ キューバ アイルランド イタリア
 スウェーデン ポーランド ノルウェー

この他にも、禁煙法(きんえんほう)がある国はどんどん増(ふ)えています。

2003年に、たばこの害から世界中の人々の健康(けんこう)を守るための条約(じょうやく)が作られました。その後、世界中の国々が「禁煙へのとりくみ」をすすめています。中でも、ブータン王国では、世界で初めて、子どもだけでなく大人にも「たばこを売ってはいけない」という法律が作られました。右上のスライドのように、その他の国々でも、人が集まる場所(ばしょ)、たとえば病院(びょういん)、レストランなどの建物(たても)の中では「たばこを吸ってはいけない」という法律を作る国がどんどん増えてきています。

